

年 組 名前：

**地方暮らしに憧れるか**  
※トランスバンクの調査による

憧れの程度	割合	人数
とても憧れる	16.2%	16.2%
まあまあ憧れる	33.1%	33.1%
どちらとも言えない	21.5%	21.5%
まったく憧れない	14.4%	14.4%
あまり憧れない	14.8%	14.8%

## 東京圏 意識調査

# 若者49% 地方に憧れ

## 仕事の条件は合わず

ふるさと納税事業を手がけるトランスバンク（東京都渋谷区）は14日、東京圏に住む若者の49.3%が地方暮らしに憧れているとの意識調査結果を発表した。一方で多くは、自分にとって「良い仕事」をするには都市圏に住んだ方が良いと回答。移住につながるには魅力的な就業先確保と情報発信が課題となりそう。

7月にインターネットで実施し、東京、埼玉、千葉、神奈川県、奈川4都県に住む15〜29歳の919人が回答した。地方に「とても憧れる」は16.2%、「まあまあ憧れる」は33.1%で計49.3%。うち358人は実際に地方で暮らしてみたいと答え、希望する移住形式は完全移住が47.5%で最多。次いで短期間の移住22.1%、都心と地方の2拠点生活21.2%だった。理想の暮らしができそうな道府県トップ5は北海道、沖縄、長野、静岡、福岡の順となった。

良い仕事の条件は「収入が良い」「やりがいがある」「働きやすい」が上位だった。そのためには都市圏居住の方が良いと思うのは、地方に憧れる453人のうち63.6%。調査担当者は「若者は地方で効率よく働けるかどうかに確

(2023年9月15日付 山梨日日新聞 25面)

**問1**

東京圏に住む若者への調査で、49.3%が地方暮らしに憧れていると回答しました。「とても憧れる」と「まあまあ憧れる」の率と人数(小数点以下四捨五入)を教えてください。

- ・とても憧れる：.....% .....人
- ・まあまあ憧れる：.....% .....人

**問2**

理想の暮らしができそうな道府県トップ5を教えてください。

.....

**問3**

一方で良い仕事をする条件としていることを、3つ教えてください。

.....

**問4**

調査担当者は、この結果をどのように分析し、どのようにするべきと話していますか。

.....

.....

信が持っていないと分析し、働き方の情報発信を強めるべきとした。